



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS

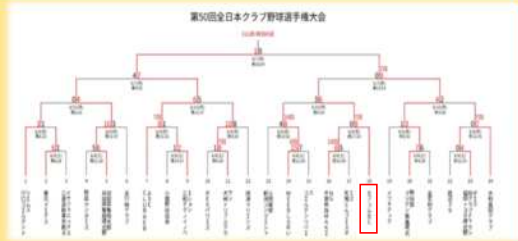


エフコムベースボールクラブ

第50回全日本クラブ野球選手権大会

◇◇試合結果◇◇

2回戦 V S 千葉熱血MAKING (9対0) 勝利
準々決勝 V S WEEDしらおい (6対3) 勝利
準決勝 V S マツゲン箕島硬式野球クラブ (0対9) 敗戦



エフコム道方 康友 監督、主将の松嶋 拓郎 内野手より本大会のコメントをいただきました！

道方 康友 監督

第50回の記念大会で準決勝・決勝を東京ドームで開催されましたが、県内・東北地区大会を順調に勝ち上がり、念願の東京ドーム決戦に挑みました。結果は、連覇中のマツゲン箕島に準決勝で惨敗しましたが、今後の課題が明確になった試合でした。来年に向けたチーム作りに繋げていきます。来年は、クラブ選手権大会優勝と都市対抗野球出場を目標にチーム強化を図っていきたいと考えております。
今後ともエフコムBCへのご支援・ご声援を宜しくお願い致します！

松嶋 拓郎 内野手（主将）

第50回全日本クラブ野球選手権での熱いご声援、誠にありがとうございました。
準決勝での完敗は悔しい結果となりましたが、目標である「クラブ日本一・都市対抗出場」に向け、チーム全体が大きな気づきを得る糧となりました。
現地や配信から背中を押してくださった会社の皆様をはじめ関係者の皆様へ感謝を胸に、より観客の心を燃やすチームへ生まれ変わります。今後とも応援よろしく申し上げます！





野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

二回戦 V S 千葉熱血MAKING

第50回JABA全日本クラブ野球選手権初戦の舞台は神奈川県保野公園・横浜薬大スタジアム。

2回戦から登場のエフコムBCの先発はキングこと小口。相手は千葉県の千葉熱血MAKING。試合は初回から動く。1番八百板(卓)が死球で出塁すると3番八百板(飛)、5番松嶋、6番吉田の連続ヒットが生まれ初回到3点を先制。エフコムBC先発の小口は先制点をもらい、勢いのあるピッチングを披露。3回には、この回先頭の4番伊藤(海)がヒットで出塁すると、5番松嶋、7番大平が連続ヒットを放ち2点追加。5対0とエフコムBCが主導権を握ったまま前半線を終えます。

後半戦の6回には、2番中居が2塁打を放ちチームに更なる勢いを与えます。そこから相手投手の制球が乱れ1アウト満塁の場面で、フェイスこと6番吉田がライトにタイムリーヒットを放ちチームのボルテージは最高潮に。追い打ちをかけるように絶好調の7番大平がライトにタイムリー3塁打を放ちこの回4点を加え試合は9対0に。

先発の小口は7回までホームを踏ませない圧巻のピッチングを披露し試合は9対0大会規定7回コールドで準々決勝進出を決めた。

小口 優太郎 選手
投手/出身校
東海大浦安高等学校 ⇒ 東海大学



八百板 飛馬 選手
外野手/出身校
聖光学院高等学校



大平 峻輔 選手
外野手/出身校
東日本国際大附属昌平高等学校 ⇒ 日本ウェルネススポーツ大学



中居 泰雅 選手
内野手/出身校
水城高等学校 ⇒ 日本ウェルネススポーツ大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

準々決勝 V S WEEDしらおい

全日本クラブ野球選手権準々決勝の相手は北海道代表のWEEDしらおい。エフコムBCの先発は鉄腕の渡邊（拓）。1回表は相手チームにヒットを許すも力のある球で後続を断ち、初回を0点に抑えます。前日から勢いのある打線は、1番に打順が昇格した島崎がセンター前にヒットを放つと2番中居もヒットで続き、4番伊藤（海）がセンターへ先制タイムリーを放ち4番の仕事を果たす。その後も、ヒットと四死球が絡み絶好調の8番大平が左中間へタイムリーを放ち一挙5点を先制。

2回から4回まではお互いにホームベースを踏ませない投手戦となり、試合が動いたのは5回。ここまで好投を続けていた渡邊（拓）が先頭を抑えるもWEEDしらおい打線につかまり2点を失い降板。2番手は山上がマウンドに上がり後続をダブルプレーに仕留め、前半戦を終えます。後半戦の6回には、エフコムBCがチャンスを作り6番吉田、8番大平にヒットが生まれ1点を追加し6対2と点差を広げエフコムBCが主導権を握ったまま試合は終盤へ。

7回には2番手山上がWEEDしらおいにチャンスを作られるとタイムリーを浴び1点を失い6対3。しかしWEEDしらおいの反撃はここまで。3番手でマウンドに上がった山形が8回、9回を抑え6対3でWEEDしらおいに勝利し、準決勝進出、東京ドームへの切符を手にした。

渡邊 拓海 選手
投手/出身校
酒田南高等学校 ⇒ 東日本国際大学



伊藤 海斗 選手
外野手/出身校
酒田南高等学校



山上 遼真 選手
投手/出身校
弘前学院聖愛高等学校 ⇒ 仙台大学



山形 胤舜 選手
投手/出身校
弘前学院聖愛高等学校 ⇒ 青森大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

準決勝 V S マツゲン箕島硬式野球部

全日本クラブ野球選手権決勝の舞台は東京ドーム。相手は昨年、一昨年と敗れている和歌山県代表のマツゲン箕島硬式野球部。

エフコムBCの先発は2回戦で完封勝利をしているキング小口。小口は1回裏にヒットを許すも落ち着いた投球で後続を抑える。しかし2回、3回と相手打線に捉えられ5点を失い3回途中で降板。2番手でマウンドに上がった渡邊（拓）が力のこもった投球で後続を抑え、援護したい打線だが、相手投手を攻略することができない。3回は見事に抑えた渡邊（拓）だったが、4回にホームランを打たれ、降板。3番手で山形がマウンドに上がるが、相手打線につかまり失点を許してしまう。何とか後続を抑えて打線の覚醒を期待する。

すると打線は4回、6番八百板（卓）のヒットでチャンスを広げ2死満塁。ここで満塁男、絶好調の8番大平を迎えるが、1本が出ず得点することができないまま、前半戦が終了。

試合は後半戦の6回、6番八百板（卓）がこの日2本目となるヒットを放つと大河内が代走で出場、初球で盗塁を決める。7回には、代打河野がセンター前に意地のヒットを放ち、代走伊藤（琉）が盗塁を決めチャンスを広げるも後続が倒れ無得点。「0対9」大会規定の7回コールドで無念の敗退、決勝進出は果たせなかった。

八百板 卓丸 選手
外野手/出身校
聖光学院高等学校

渡邊 翼 選手
内野手/出身校
聖光学院高等学校



伊藤 琉晟 選手
外野手/出身校
酒田南高等学校 ⇒ 富士大学

大河内 陸 選手
外野手/出身校
福島商業高等学校



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。